

1. 議員定数及び議員報酬について

5%カットしていた報酬を元に戻した理由は、本年6月に施行の議会議員選挙において新たに選出された議員によって協議されるべきと考え、復活させたものです。

議員定数については現状の8名を増減する必要は無いと考えます。

議員報酬についても議員活動を行う上で、一定の歳費は必要で決して高すぎるとは考えておりません。又、5年前に定数12名から8名に削減する議論のなかで、定数を削減するのか？歳費を削減するのか？激論のなかで定数を8名にすることに決しました。これにより議会費の総額は大きく削減されております。

2. 丹生谷の産廃処分場計画について

私たちが現在のような文化的で豊かな生活を続ける為には、ゴミ焼却場や、し尿処理場、産廃最終処分場など必要であると思えます。ただこれらは迷惑施設と位置づけられている事から、用地の買収や近隣住民への説明については、正直で紳士的な対応が求められます。まして営利を目的にする企業が進めるなら尚更のことです。産廃処分場であることを隠し、運動公園を作る・太陽光発電施設を作るなどの名目で買収を進めたり、買収に応じない地権者には顧問弁護士連盟で脅しに近い文章を送付するなど許さ

れる事ではありません。まして計画地域内には少なくとも4基以上の古墳が確認されており、これらを破壊してまでこの場所にこだわる正当な理由もなく、地域住民に信用・信頼される企業でない事から、本計画には反対いたします。

森下 明